

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○			○	○	○		○		○	○	○	

企業の概要

社名	カルビー株式会社	都道府県	東京都
業種	製造業	従業員数	3,812人
事業概要	菓子・食品の製造・販売		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	モバイルワーク規程
テレワーク担当部署	人事総務部
テレワーク対象者	テレワークを希望し、上司が認めた者
実施者数	226人
実施日数	概ね週1～2回

テレワークの導入・拡大の経緯

2014年4月1日に、週2日自宅限定の「在宅勤務制度」を導入し、2017年4月1日に日数制限無し、場所制限無しの「モバイルワーク制度」へとリニューアルした。2018年4月1日には、入社3年目未満の社員や契約社員を含む全従業員を、制度の対象とする規程改定を行った。制度への登録者は現状226名であり、対象と想定される母集団のおよそ7割程度の登録に達しており、今後も登録者数の拡大を進めていきたい。

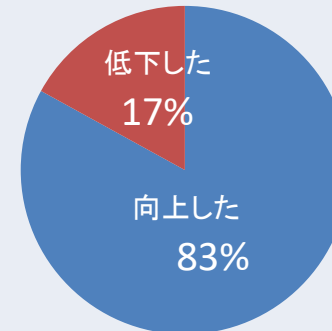
テレワークの概要・特徴

弊社では日数及び勤務場所に制限を設けない「モバイルワーク規程」を2017年4月1日から導入し、2018年4月からは入社3年目未満の社員及び契約社員も含めた全従業員を規程上の対象範囲とした。2017年7月のテレワーク・デイには、特別協力団体として参加し、計270名がテレワークを実施。テレワーク・デイ後の従業員からの要望を受け、2017年度下期には毎月第3水曜日を「モバイルワーク・デー」とし、本社全従業員にテレワークを推奨した。2018年7月のテレワーク・デイズでも特別協力団体として参加し、7/23と24の2日間を本社従業員のモバイルワーク推奨日とし、計460名がテレワークを実施。今後は常時利用者数及び平均利用日数を共に向上させていく事で、生産性向上及びライフワークバランス向上を狙っていく。

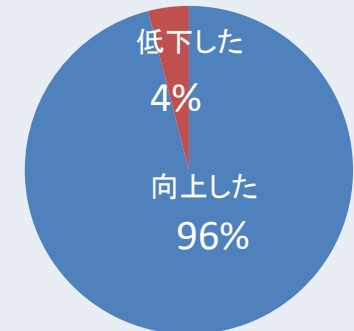
テレワーク導入の効果（経営にもたらした効果、その他効果）

テレワークによって、業務効率及びライフワークバランス共に向上しているという結果が従業員アンケートに見られた。

業務効率について



ライフワークバランスについて



2018年7月のテレワーク・デイズ後のアンケート(回答数100)